

従業員へのストレス

労働者健康状況調査

- 厚生労働省 5年おき
  - 19年度
  - 14年度
- 強い悩み
  - 2007年 58.0%
  - 2002年 61.5%
- 相談の状況
  - 相手
    - いる
      - 男性 87.4%
      - 女性 93.1%
      - 年齢↑ %↓
    - 1位 家族・友人
    - 2位 上司・同僚
- メンタルヘルス対策
  - 2007年 33.6%
  - 2002年 23.5%
  - 取り組み 増加

- 1位 男性：仕事の質
  - 女性：人間関係
- 2位 男性：人間関係
  - 女性：仕事の質
- 3位 仕事の量
- 1位 職場の人間関係 38.4%
- 就業形態別
  - 一般社員 61.8%
  - 契約社員 56.2%
  - パート 40.3%

自殺者

- 警察庁
  - 1998年急増 → 2008年まで3万人以上
- 自殺
  - 原因
    - さまざま
    - 単一説明不可
  - 直前
    - 精神健康面の不調
    - 心の病
- 対策
  - 2006年 → 自殺対策基本法
  - 2007年 → 自殺総合対策大綱

(財)社会経済生産性本部の調査

- 2008年 最近3年間 → 心の病 増加傾向 56.1%
- 2006年
  - 心の病 一ヶ月以上の休業 74.8%
  - 管理監督者の活動 重視 増加傾向
- 2004年
  - 管理監督者の活動 力を入れている 精神不調者抑制効果

心の病

- 多い年齢層
  - 1位 30歳代
  - 2位 40歳代
- 多い疾患
  - うつ病
    - 94.0%以上
    - 自殺とも関連
    - 代表的
- 増加傾向
  - 人を育てる余裕がない
  - 組織とのつながりがない
  - 仕事の意味・全体像を考える余裕がない

✓ (財)労務行政研究所 2008年 最近3年間 心の健康問題増加企業 半数超え

国民生活基礎調査

- 厚生労働省 1年ごと
  - 2007年
  - 2008年
- 2007年 悩み・ストレスがある 15歳上有職者
  - 男性 45.9%
  - 女性 56.7%
  - 無職者より高率

日本人の意識調査

- 35年前より
  - 仕事志向 減少
  - 仕事・余暇の両方志向 増大
- 2008年度
- 理想の職場
  - 35年前 健康を損なう心配がない
  - 2008年度 仲間と楽しく働ける

企業の問題

- 労災認定 増加
- 民事訴訟 責任追及